

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第304号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2011年11月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP\*NEWS

## 中高合同体育祭開催!!

### 第47回建学祭「想う」入場者5,448名

### 吹奏楽部(中等部) 東日本学校吹奏楽大会 金賞受賞



この門を5,448名が通りました



中等部2年の学習発表



吹奏楽部(中等部) 金賞

# 第10回 中高合同体育祭開催



## 優勝

体育祭実行委員長 石橋 裕也

3年5組 足立区立第八中学校出身

高校最後の体育祭は、私にとってとても良い思い出となりました。1つ目の思い出は、クラスの仲間が普段の学校生活では見ることのできない、顔や活躍の様子を見ることができたことです。特に、クラスの女子のリレーは力強く、男子顔負けの活躍を見せてくれました。

2つ目は、体育祭実行委員長を務めたことです。“委員長”という責任ある仕事を務めたのは初めてのことで、全校生徒の前で話をしたり、内容を決めたりと、緊張したり戸惑ったりしました。何もわからない状態でスタートしたので、多くの人に迷惑をかけたことと思いますが、周りの先生方や友人に助けをもらいながら、何とか無事に終えることができました。

3つ目は赤組で優勝できたことです。順位発表の時は、まさかと思っていましたが、優勝のアナウンスを聞き、周りの人たちが喜んでいるのを見て、また私自身が優勝カップを受け取ることで、ようやく実感が湧きました。優勝カップを持ってクラスで写真を撮ったことは、とても良い思い出になりました。

今年は震災もあって、私たちのように素晴らしい環境で行事をするのができなかった人も多いと思います。恵まれた環境に感謝し、これからも活気のある、充実した高校生活を過ごしていきたいです。



## 選手宣誓

中高代表が声高らかに宣誓!!



## 準備体操

女子バレーボール部のリードにて



## 棒引き(撮影:写真部)

たかが1本、されど1本!!



## 障害物競走

みんな必死です!





### 台風の日

スピードを合わせて走り抜く!



### 大玉おくり

中1から高3まで合同で行う唯一の競技



### 綱引き

一致団結!

### リレー(高校) (撮影:写真部)

全力疾走だ!



### 玉入れ

何個入るかな?

### 大縄跳び

タイミングを見て!



### 部活対抗リレー (撮影:写真部)

部活動の誇りを胸に!

高校の結果  
色別対抗

優勝 赤組  
準優勝 白組  
第3位 青組

	1年(クラス)	2年(クラス)	3年(クラス)
赤	5組	9組・10組	3組・7組
オレンジ	8組	4組	1組・9組
黄	7組	1組・6組	4組
緑	1組・6組	3組	2組・8組
青	4組・9組	2組・7組	5組
白	2組・3組	5組・8組	6組

中等部の結果  
赤(A)・白(B)対抗

今年度は、同点優勝

優勝 赤組(A組)  
白組(B組)

# 建学祭開催



## さまざまなクラスの色

建学祭実行委員長 丸山 かをる 3年4組 船橋市立高根台中学校出身

秋晴れの10月8日・9日に開催された第47回建学祭、今年は両日とも天候に恵まれ、たくさんのお客様に来ていただくことができました。今年の建学祭は、各クラスでの模擬店や展示が大変工夫されていたと思います。他の学校の文化祭では見られない内容のものが多く、仲間で協力をして作り上げている様子があり、クラスの団結力や各クラスの色が見られて大変感動しました。

今年のテーマは「想う」でしたが、皆さんが持っている想いや、誰かや何かを想う気持ちをこれから先も大切にしていってほしいと思います。

今年の建学祭が成功したのは、各団体、先生方、建学祭実行委員の皆さんの支えがあったからだと思います。ご協力本当にありがとうございました。来年は、この「想う」を大切に今年よりも更に素晴らしい建学祭になることを期待しています。

## 英語スピーチコンテスト

### 優勝

### 湯田 光

1年6組 川崎市立南大師中学校出身

最初は自分がスピーチコンテストで優勝できるとは思っていませんでした。今でも信じられないくらいです。正直な話、私はあまり英語が得意ではありません。もちろん英語をペラペラ話すこともできませんし、記憶力もあまり良くありません。ただ少し英語の発音がうまくなるだけです。そんな私が優勝できたのは、努力したからだと思っっています。先ほど述べたように、私はあまり記憶力が良い方ではありません。なので原稿を何十回と繰り返し読みました。また文法も完全に理解していないので、原稿は辞書や教科書などを用いて作成しました。このことから私は、努力をすれば成長し、必ず報われるということがわかりました。私は今まで自分にあまり自信が持てませんでした。ですが、今回のスピーチコンテストで優勝したことによって、自信を持つことができました。この自信を自分の将来につなげられるようにしていきたいと思っています。



左から寺田君、湯田君、藤澤さん

### 英語スピーチコンテスト 結果

優勝	1年6組 湯田 光
準優勝	1年9組 寺田拓郎
3位	1年5組 藤澤英子

## 日本語ディベート大会 2年6組優勝

### ●日本語ディベート大会論題●

「日本はサマータイム制を導入すべきである。是か非か。」

### 一片の悔い無し

### 秋元 拓真

2年6組 横浜市立矢向中学校出身

初めこそ「それなり」にやっていたら良いくらいにしか思っていなかったディベート大会でした。しかし、決勝進出が決まるところから、梶川先生に助言をもらいながらメンバーとの打ち合わせをしていくうちに「不利だと思われる肯定側でもできることをやろう」という気持ちになりました。そして、勝負に関わらず自分たちは悔いのないディベートができたと思います。本番では滑舌が悪くあまり上手に話せませんでしたが、サポートしてくれたメンバー、指導して下さった梶川先生、応援してくれたクラスの先生やみんなに感謝しています。



優勝した6組のメンバー  
左から内園君、小林君、秋元君、渡邊君、新津君

## 英語ディベート大会 肯定側優勝

### ●英語ディベート大会論題●

“There should be no tests in Takanawadai High School.”

### 英語のディベートを通して…

### 肯定側チームリーダー 山中 光一

3年3組 川口市立戸塚西中学校出身

私はディベートをやること自体が初めてで、メンバーに選出された時はとても驚いて不安でした。それに、いざ文章を考えてみると、自分の意見だけでなく相手がどのようなことを言うのかということを考えなければならぬので、とても大変でした。しかし、メンバーと切磋琢磨して、良い状態で本番に臨めました。本番は思っていたより人が多く、しかも英語でのディベートだったのでとても緊張しましたが、結果として勝ててよかったです。今回の経験を今後に生かしたいです。



優勝した肯定側メンバー

## 2011年度 第6回知財グランプリ結果

建学祭恒例の知財グランプリは今回で6回目を数えます。今年のクラス展示の特色は、似通った内容の団体がある一方で、今までにないオリジナルな展示や模擬店メニューが登場したことです。今回、グランプリ・準グランプリに選ばれたのも、これまでになかった独創的な内容の展示団体でした。惜しくも受賞は逃したものの、1年1組の「人生ゲーム」は、高輪台高校入学から卒業までをゲームでたどるオリジナルな内容に審査員の高い評価が集まりました。受賞した3団体に共通しているのは、来場者に対する丁寧な「おもてなし」です。高校1、2年生の皆さんは、今回の受賞団体を参考にして来年の企画にチャレンジしてください。



### グランプリ 2年10組 ハンターは君だ!

動物に関する科学的な問題の答えを、ティラノサウルスからゴキブリまでの49の展示作品の中から探すという、クイズラリー形式の内容が好評でした。一つひとつの動物が大変手の込んだ作品であったことも高得点につながりました。また、スタッフの丁寧な説明と応対にも好感が持たれました。24名のSSHクラスながら、普通クラスに劣らない努力と工夫が高い評価を獲得しました。

### 準グランプリ

#### 3年4組 食べざかりの君たちへ ～太めんパラダイス～

カレーうどんというありそうでなかった新メニューが好評を博していました。既成のカレーではなく、ルウや具材から手作りする本格的な味は、高い評価を受けていました。障子紙を使用した店の装飾、ポスターも高い得点を集めました。



#### 3年8組 そばばばーん

そばめしを、材料から丁寧に手作りをしていたところが評価されました。和風の老舗という共通のコンセプトで作られた装飾とポスターも高い評価を受けました。また、生徒の丁寧な応対も好評でした。



### ポスター部門賞

#### 3年4組 食べざかりの君たちへ ～太めんパラダイス～

実物のワイシャツ、割り箸とフェルトで作ったどんぶりを組み合わせたリアルな立体表現が高い評価を受けました。4組は昨年に続き、ポスター部門との2度目のW受賞となります。

## 栄光を星につなげ!!

### 吹奏楽部(中等部) 東日本学校吹奏楽大会 金賞

吹奏楽部顧問 古谷 知永

このたび、第11回東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞することができ、部員一同大変うれしく思っています。また、私たちをサポートしてくださった保護者の皆様、学校教職員の方々、応援してくれた在校生、卒業生の皆さんに改めて深く感謝を申し上げたいと思います。

今回の大会では、私たちの学校が金賞を受賞することができましたが、他の中学生の行動や態度、また音楽的なレベルの高さなどを改めて勉強することができました。音楽はその人の人間性が出ると私は考えています。例えば人から尊敬されるような人は、それだけ立派な音楽を演奏できるということです。そして、音楽はここまで追求すれば良い、仕上がれば良い、というゴールは決してありません。常に最上級を求め

ていく努力と忍耐力が必要です。この大会を通してそれらを学べたことはとても幸せなことであると同時に、これからの部活動に生かし、より良い活動ができるよう一層の努力をしていきたいと思っています。

今後も素晴らしい音楽を追及するとともに人間的にも大きくなれるよう部員一同、精いっぱい頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。



# 中等部 1 学年 だより

## 写生大会

3日間にわたる前期期末試験を終えた翌日の9月16日(金)、台場にある潮風公園にて写生大会を行いました。当日は残暑厳しいながらも、東京湾の心地よい潮風に当たりながら、思いっきり芸術の秋を堪能しました。

### 写生大会を振り返って

黒木 花菜

1年B組 港区立芝浦小学校出身

今回の写生大会のように、外で絵を描くということは私には初めての経験でした。外では、部屋で描いているときよりなかなか集中できず、写生を進めることが大変でした。でも、今回の写生大会を通して、絵を描くことが苦手な人でも得意な人でも、集中して取り組めば、すてきな作品が出来上がるんだなということを感じました。

ただ、鉛筆で明暗をハッキリさせたり、細部を描いたりするのはある程度の技術がないと難しいです。だから私は技術ではなく、気持ちで作品と向き合いました。作品に頑張ったという気持ちを込めておけば、どの人が見ても頑張りが伝わり、立派な作品になるのです。

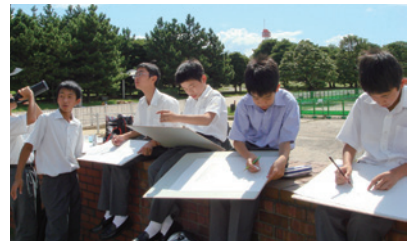
この写生大会という行事で大切なことは、やるときはやるという集中力と、頑張るとい気持ちです。絵を描くときにしか要求されない技術だと考えていたものが、実は日常生活でも必要とされる技術であることがわかりました。



小泉先生の指導を受けながら



釣りを写生中?



何を描こうかな

## 水泳実習

夏休みをはさんだ7月9日(土)と9月24日(土)の2日間、水泳実習のために湘南校舎を訪れました。水泳だけでなく、ディスクゴルフ、体力測定も行われ、大学の充実した施設を利用することができました。

### 水泳実習を振り返って

小松 雛子

1年A組 品川区立第三日野小学校出身

東海大学の湘南キャンパスで水泳実習がありました。大学のプールはとても深いプールでした。

7月の1回目と同じように、今回も「中級」を選びました。私は平泳ぎが遅いので速く泳げるようになりたいと思いました。クロールの時は、「グー」とか「チョキ」よりも「パー」が一番泳ぎやすいこともわかりました。また水中では、頑張って浮こうとしてもがくよりも、じっとしているほうが浮きやすいということもわかりました。実習の最後にリレーがありました。自分のせいでチームに迷惑をかけたくなかったので、全力で泳ぎました。結果は3チーム中で2位になりました。1位を取りたかったけれども、全力で頑張ったので満足しています。ただ、来年の水泳実習でもリレーがあれば、今度こそは1位を狙いたいです。

私はこの水泳実習を通して、「全力を出せばそれなりの結果が得られる」ということを発見しました。だから私は、何事にも全力で取り組み、良い結果を出すように心がけたいです。



大学の水泳部員に教わって



体力測定



水泳実習を終えて

# 中 等 部 2 学 年 だ よ り

## ☆中2の建学祭テーマは「平和」☆

今年は東日本大震災があり、生徒たちもさまざまなことを考えさせられました。多くの授業の中で身近な「幸せ」を大切にしようと改めて考えました。そこで今年の建学祭は、「平和」というテーマで学習発表を行いました。

### 楽しかった2日間

渡邊 輝

2年A組 世田谷区立玉川小学校出身

僕は建学祭準備で短歌を担当しました。この短歌は道徳の時間に、今回の震災を経て感じたことや、普段幸せを感じることにしてみんなが作ったものです。みんなの作品を見ていると、ユーモアで上手な作品がたくさんあり、見ていて楽しかったです。装飾でタイトルを作った時、先生に「うまいね」と言ってもらえてうれしかったです。

建学祭当日には「幸せを感じることに」についてお客さんに書いていただきましたが、人によって幸せだと感じるものが違うのに気づきました。中でも多かったのは、寝る時や寝ている時です。僕も暖かい日に畳の上で昼寝をすることがあるので、その気持ちがよくわかりました。お客さんに書いてもらった中で一番いいなと思ったのは「家族と一緒に夕ごはん」というものでした。準備も建学祭もとても楽しかったです。

### 建学祭での工夫点

大谷 洸貴

2年B組 森村学園初等部出身

僕は理科の夏休みの宿題になっていた「科学に関する自由研究」のレポートの展示を担当しました。その際、苦労したのは自由研究の配置の仕方です。内容が素晴らしいものを模造紙に貼って展示しようかと考えていたら、「模造紙に貼られていない他の人のレポートに注目してもらいにくいのではないか」という意見が出ました。そこで展示方法について1時間以上も話し合いをしました。結果的に両方の意見を取り入れることにしました。模造紙に貼って展示するものとは別に、ダンボールでフレームのようなものを作り、そこに自由研究のレポートを載せることで、より一層目立たせることができました。

今回僕が感じたことは、しっかりと納得いくまで話し合うことで良いアイデアが生まれるということです。この経験を次にも生かしたいです。

## ☆私たちが展示を担当しました☆

今年は班ごとに分かれ、任された作品の展示企画から実際の展示まですべて生徒たちが行いました。他の班は次号でご紹介します!



クラスマークと平和のポスターは、重くて吊るすのに苦労しました



中等部4代目の誇りを胸に頑張りました!



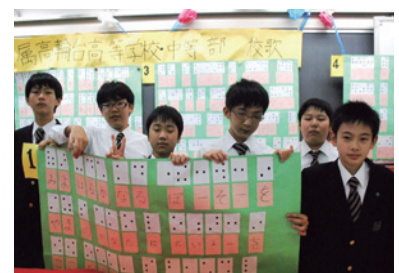
このハートは小さな写真が集まってできています



みんなで協力して「虹のちぎり絵」見事完成☆



「戦の歴史ポスター」の展示は吊るし方を工夫しました



点字で自分の名前と校歌を表現しました

# 中等部3学年だより

## 中高合同体育祭を経て

6月には中等部体育祭で、中等部最高学年として後輩をひっぱってくれた3年生。今回は中高合同体育祭ということで、高校生の迫力に圧倒されながらも、来年はその仲間入りすることに今から期待に胸を躍らせているようでした。

### 高校生の姿を見て

朱易 維禎

3年A組 世田谷区立八幡小学校出身

僕は今回の中高合同体育祭で、中等部の競技の合間に、高校生の競技をずっと見ていました。そして、仲間と協力する真剣なまなざしに感動しました。

僕も来年、高校生になった時に中高合同体育祭で、先輩たちのように頑張っている姿を後輩に見せられたらなと思います。そんな高校生になれるように、今から先輩方の良い所を学んでいきたいです。

### 最後の中高合同体育祭

伊東 慎一郎

3年B組 大田区立萩中小学校出身

今年で中等部最後の体育祭でした。白組になってから勝つことがないので、最後に勝ちたいという気持ちでやりました。結果は同点優勝でしたが、とてもうれしかったです。

特にうれしかったのは、リレーです。僕はリレーに出ましたが、足を剥離骨折していて全力が出せませんでした。しかし、全員の力のおかげで逆転して勝つことができ、団結力の素晴らしさを知り、みんなで力を合わせるとなんでもできるなとわかり、感動しました。



円陣を組んで気合を入れます



我先に!



呼吸を合わせて

## 建学祭の思い出

生徒たちは中等部最後となる建学祭を終えて、これまで感じる事のなかった感情がこみあげてきたようです。苦労や困難も良い思い出となりました。

### 中等部最後の建学祭

吉野 静

3年A組 新宿区立鶴巻小学校出身

私は最初準備などすごく面倒くさいなあと思っていました。しかし、友達と協力すればするほど大変な仕事や準備も楽しく感じました。

私の班は大きなバスを作るということでとても大変でした。しかもインクが足りなかったり、体のいろんな所にインクが付いたり、人数が少なかったり、いろいろな苦労をしました。しかし、クラスの友人が手伝ってくれたり、先生が協力してくれたりしたおかげで、無事に大きなバスが作れました。達成感がありとてもよかったです。中等部最後の建学祭がとても楽しめてうれしいです!!

### 最高の建学祭!!

小川 沙麗

3年B組 横浜市立戸部小学校出身

中学生として最後の建学祭は、今まで以上に心に残る思い出になりました。クラスポスターは昨年以上のものが出来上がり、黒板や教室への装飾も3年間で1番うまくいったと思います。今回の建学祭ではカメラを借りて撮影もしました。皆の笑顔がたくさん見ることができ、あまり話したことの無い人とも話すことができよかったです。来年からは、クラスメートだけでいろいろ決めていくので、クラスを中心に立ってリードしていきたいと思いました。



一所懸命準備したよ



力作です



見に来てね!



# 高校1学年だより

10月8、9日に初めて建学祭を経験しました。各クラスの感想を載せます。

## 1組 伊藤 吉貴

川崎市立大師中学校出身

準備がなかなか進まず、一時はどうなることかと思いましたが、みんなで協力して、どうにか無事、完成しました。多くの人たちが、1組の「人生ゲーム」を楽しんでくれる姿を見て、私たちもうれしく思いました。また、先生方や他クラスの人たちの評判もよく、これも、みんなで一生懸命に取り組んだ成果だと思っています。来年は、今年よりも、より充実したものにしていきたいと思います。

## 2組 河野 英次郎

杉並区立東田中学校出身

今回の建学祭は私たちにとって初めてのものでした。1年2組では「〇〇さんの一生」という人生ゲームを行いました。準備の初日は不安がありましたが、みんなが個々の仕事をしっかりやり遂げ、完成させることができました。当日は予想以上にたくさんのお客さんに楽しんでもらうことができ、大成功でした。

## 3組 野津 幹陽

台東区立上野中学校出身

今回、初の建学祭でクラスの責任者をやらせていただきました。不安な点もたくさんありましたが、無事に終わることができたと思います。また、この建学祭でクラスの仲もより深まった気がします。今まで会話をするのがなかった人とも会話ができ、これからの学校生活がより楽しくなりそうです。

## 4組 伊藤 将希

板橋区立高島第三中学校出身

高校に入って初めての建学祭がありました。4組は「モグラたたき」をやりました。段ボールで作った「もぐらたたき」を完成させた時の達成感は今でも忘れられません。そして、当日は多くのお客さんが来てくださり、4種類あるゲームを楽しんでくれたのでうれしかったです。2日間(4日間)大変でしたが、とても楽しい時間を過ごせてよかったです。

## 5組 滝口 雄斗

越谷市立栄進中学校出身

5組はクラスで話し合う時間でもまとまりがなく、クラスが1つになりませんでした。しかし準備期間になり、1人ひとりが一生懸命準備して、ようやく建学祭を成功させるという目標でまとまることができました。当日は展示が壊れたりしましたが、全員で協力してできた建学祭は充実して、良い思い出になりました。

## 6組 細川 海斗

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は中等部で3年間建学祭を経験していましたが、高校の建学祭は初めてで雰囲気も違っていました。さらにクラスはいろいろと大変でした。建学祭1日目に変更があって想像していたものよりも低いクオリティーになってしまいました。このことで納得ができない建学祭になった人もいます。しかし、1人ひとりが見えないところで、「想う」気持ちをもって頑張っていたのでよかったです。来年は自分たちが自立して、納得できるような建学祭を創り上げていきたいと思っています。

## 7組 佐藤 真帆

台東区立上野中学校出身

私たちのクラスは、吹奏楽部と軽音楽部が多く、準備の時など人手が少なく大変でした。しかし、クラスの人のおかげで協力によって、当日成功させることができました。全員が積極的に仕事をしてくれて本当に感謝しています。当日の忙しい時でも何か足りないと、すぐに買い出しに行ってくれる人もいて、たくさんのお客さんを満足させることができたと思います。初めての建学祭をとってもいい思い出にできてよかったです。

## 8組 勝又 勇太

横浜市立あざみ野中学校出身

私たち8組はソーラン節を行いました。正直、私はクラス建学祭委員という肩書だけで、クラスの仲間に助けられてばかりでした。モチベーションを高めてくれる女子、お手本となってくれる男子…。大成功とまではいきませんが、仲間の大切さを改めて感じました。今回の建学祭を思い出として残すのではなく、経験という財産にして、これからの行事も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

## 9組 高橋 優人

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

9組はバルーンアート教室を行いました。最初はクラスTシャツのデザインやお金の使い方などでめめましたが、なんとか完成させることができました。そして、当日は大盛況という結果を残すことができました。大変なこともたくさんありましたが、私たち自身楽しみながら、協力し合いながら最高の建学祭を作り上げることができました。



# 高校2学年だより

建学祭についてクラスに一言と写真をいただきました。10クラスとも団結力が高まったと思います。来年度は、どのクラスも知財グランプリを狙って、盛り上がりましょう。



## 1組 野田 奨悟 横浜市立潮田中学校出身

私たちのクラスは、駄菓子の模擬店を出店しました。部活動で準備に参加できない人も多かったのですが、その分働ける人たちが協力して、見事な装飾が完成しました。本番の模擬店は2日間の出店で金券もしっかり完売。お買い上げのお客様方に改めて深い感謝を!

## 2組 小杉 健也 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

建学祭というと、毎年同じような出し物を提供しますが、我がクラスは突飛な出し物をしました。「がっかり」という名でやらせていただきましたが、その名前のせいでお客は寄ってきませんでした。いくら今までに誰も考えないような面白いアイデアでも、それを人に伝えることの難しさを学んだ今年の建学祭でした。



## 3組 小林 隼人 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私たちのクラスは、もぐらたたきとジェンガだったので小さな子供に人気でした。準備期間はいろいろと大変なこともあって、しっかりしたものができるか心配でしたが、無事に終えることができてよかったです。来年もクラスのみんなで団結して頑張りたいと思います。

## 4組 亀本 理佳子 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

初めてのクラスでの建学祭は不安ばかりでしたが、クラスのみんなの協力で成功させることができました。私たちのクラスは迷路をやりましたが、なるべくゴミが出ないように工夫しました。来年もクラス全員で協力して、建学祭を盛り上げていきたいです。



## 5組 佐藤 智也 墨田区立綿糸中学校出身

5組は度重なる変更で、最初の計画と実際の出店内容が、大きく異なってしまいましたが、役割分担を決め、それぞれの仕事を果たしたことで、成功させることができました。今年の反省を生かして、来年はより良い出店ができるように協力して取り組みたいと思います。

## 6組 小林 大翼 世田谷区立八幡中学校出身

まず始めに、皆さん建学祭お疲れ様でした。僕たち2年6組は「vsやすし」をやらせていただきました。なるべくクオリティーを高めようと皆で協力し合って、3つのアトラクションと1つの企画が完成しました。賞は取れなかったものの来場された多くの方に満足していただき、とても感謝の建学祭となりました。



## 7組 菅野 翔平 大田区大森第六中学校出身

今回初めてのクラス建学祭委員をやることになりました。新しいクラスでということもあり、まとめるのが大変でした。最初はみんな準備をしてくれませんが、他のクラスを見て士気が高まったのか、みんなの協力のおかげで建学祭は成功に終わりました。みんなありがとう!

## 8組 田村 祥子 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

今年の建学祭は2日とも晴れて、とても盛り上がったと思います。私は、1日目にディベート大会に参加させていただきました。激戦の末、8組が負けてしまいましたが、良い経験になったと思います。この経験を生かして、今後は生活していきたいです。



## 9組 稲垣 雄也 墨田区立両国中学校出身

今年の建学祭は、最初はちゃんとできるのか心配でした。しかし準備期間に入ってから、とても集中して取り組むことができました。クラスで一致団結して、1つのことをやり遂げた達成感の良い思い出になりました。

## 10組 足立 宏義 江戸川区立瑞江第三中学校出身

私たちのクラスは建学祭の1か月前から制作を始めました。みんなそれぞれ部活動などがあり、人数が少ない時もありましたが、当日までには完成することができました。今回知財グランプリを取れたのは、みんなが力を合わせた結果だったと思います。来年はポスターとのW受賞を狙いたいです。



# 高校3学年だより

## 第3学年建学祭特集

今月号は、10月8日(土)・9日(日)に行われた第47回建学祭での各クラスの催し物についてです。天候にも恵まれ多くの来校者を迎える中、高校生活最後の建学祭をどのクラスもエンジョイしていた様子でした。

### 1組

準備からいろいろなハプニングがありました。全員が積極的に行動してくれたおかげで無事成功することができました。1組がさらに仲良しになれたと思います。1組大好き!! (北島 真子)



### 5組

高校生活最後の建学祭で、しかも生地を一から作ったので不安とプレッシャーがありました。何とかた焼きを作ることができました。みんな頑張ってくれたので2日とも完売になりました。最高の思い出になりました。みんなありがとう! (成瀬 宏子)



### 6組

準備もチョコバナナを作るのも大変でしたが、金券が完売できてよかったです。皆、朝から夕方までお疲れ様!! 卒業まで残り少ないけれど楽しもうね☆☆ (久下 侑子・安田 真友・吉田 茜・板谷 勇人)



### 2組

今宵、灼熱の鉄板の上、我々2組はチヂミを焼きました。準備日から何度も試作し、みんなに美味しく出せるようにと努力しました。そして当日、2組全員でまとめ、全部のチヂミが売れ本当に良い建学祭でした。(伊藤 涼・坂井 健郎)



### 7組

前庭の模擬店抽選で外れて校内模擬店になってしまい、スタートは良くない雰囲気でした。しかし7組の皆はくじけることなく、準備から当日まで協力し、楽しむことができました。幸せは皆に訪れるものですね。(西村 嘉展)



### 3組

3組のホットドックは、素晴らしい!! 建学祭の初日から3組の評判はどんどんと広がり、いろんな方から好評でした。決め手はチーズソース。皆に元気を与えることができ、私たちのLAST建学祭は幕を降ろしました。(高橋 礼奈)



### 8組

初めての模擬店だったのでわからないことばかりでした。しかし、クラスからアイデアがポンポン出てきたのでスムーズに進めることができました。その結果、知財グランプリでは「準グランプリ」をいただきました!!! (中川 翔太郎)



### 4組

私たちは前庭でカレーうどんを販売しました。本場インドから取り寄せた???スパイスを使用し、真心と愛情を込めた結果、準グランプリを受賞することができました。これもみんなのおかげです。4組大好き。(荒木 莉紗)



### 9組

初めての模擬店! 大忙しだったけれどとても楽しかったです! 準備期間から、男子も女子もみんな協力し合って創り上げることができたのでよかったです。「からあげ」を買ってくれた皆さん、ありがとうございました!! (菅沼 美由起)



# 2011年度学校運営方針

## 全教科によるSSH活動への積極的な取り組みと 理工系進学者推進の研究

文部科学省から2004年度に採用されたSSH活動も、2006年度でその指定期間を終え、2007年度から「数学と理科の魅力を実感させて、理工系分野へ進学させ、国際性を備えた人材育成をはかる高大接続を考えた一貫教育プログラムの研究開発」、および、「社会とつながり、男女共同参画を推進する学校教育・学習のための、連携・企画、評価、交流・成果普及等の手法に関する研究開発」を研究開発課題として、さらに5年間の研究の延長が認められました。今年度はその5年目、最終年度にあたります。

また、東海大学では「中高生を理系進学に繋げるための委員会」を立ち上げ、高大連携の進路指導を実施します。

### 全教科によるSSH活動への積極的な取り組み

- ①文部科学省SSH指定校としての3年間を終え、新たなる5年間の活動を開始するにあたり、短期目標および長期目標を設定し、より充実したSSH活動を推進します。第2期5年目、最終年度の今年度は8月に震災のため会場を例年のパシフィコ横浜から神戸国際展示場に移して実施された「生徒研究発表会」においてポスター発表を行いました。  
また、東京都指定校合同発表会(12/23 於:早稲田大学西早稲田キャンパス)、関東近県SSH合同発表会(3/26 於:玉川学園高等部・中等部)等を協同企画・運営します。
- ②外部発表会等での受賞報告  
日本植物学会「高校生研究ポスター発表会」にて「審査員特別賞」  
千葉大学「高校生理学研究発表会」ポスター発表にて「優秀賞」  
プラズマ核融合学会主催「高校生シンポジウム」で口頭発表にて「優秀賞」、ポスター発表にて「奨励賞」
- ③第3学年SSHクラスでは、「課題研究(卒業研究)」の授業において、第2学年SSHクラスでは、「課題実験」の授業において、より発展的な探求活動を目指します。
- ④全教科が連携した本校独自のプログラム「科学倫理」のさらなる充実を図ります。
- ⑤数学においては、理科の授業がスムーズに行われるよう連携し、新たなカリキュラムの構築を行います。
- ⑥本校中等部や普通クラス、および近隣の小学校、中学校、高等学校との連携をはかり、成果の普及に努めます。  
●スーパーサイエンス教室(12/18)
- ⑦「国際化」に対する取り組みの研究をします。

### 理工系進学者推進の研究

2009年8月から「中高生のための体験授業と交流会」を学園オリンピックスポーツ大会と同時開催をすることによって、従前のものを拡大充実させて実施し、高大連携のもと予想以上の成果があがりました。今後も、さらに理系進学を推進する原動力となるよう努めていきたいと思ひます。



また、SSH活動と合わせて、理工系進学者の推進のためのきめ細かい進路指導を展開いたします。

# SSH活動報告

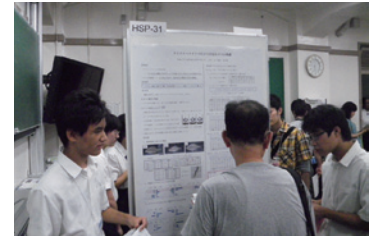
3年SSHクラスの生徒が、『課題研究』の研究発表を多くの場所で行っています。9月19日、日本植物学会主催「高校生研究ポスター発表会」で並木涼君と藤城 太郎君の「タイリクバラタナゴのメスの好むオスの特徴」の研究が審査員特別賞をいただきました。また9月24日に行われた千葉大学主催「高校生理科研究発表会」で田代桜子さんと谷口光輝君の「熱気球」の研究が優秀賞をいただきました。10月1日には、名古屋大学で行われた「プラズマ核融合学会高校生シンポジウム」で岩田昌也君、大江海斗君、山脇伶王君の「ペットボトルロケット」の研究の口頭発表で優秀賞、ポスター発表で奨励賞をいただきました。

## 研究することの大変さ

### 並木 涼

3年9組 江戸川区立松江第三中学校出身

今回実験に使ったタイリクバラタナゴには、オスが2枚貝の周りに縄張りをつくり、メスがその貝の中に産卵するという生態があります。私たちはこの生態に興味を持ち、オスが縄張りにメスを誘い込む時、メスはオスを選んでいるのではないかという思いつきから実験を始めました。実験内容は水槽を3つの区画にわけ、両端にオスを、真ん中にメスを入れ、メスがどちらのオスに近寄るかを20分間観察するというものです。この実験で20時間以上も繰り返しデータをとるのは、眠気との戦いであり、魚も思い通りに動いてくれないことから生物の行動学を研究することの大変さを身を持って知りました。植物学会での発表では、多くの先生方からとてもよいアドバイスをもらえることができ、それらを生かされるように今後の実験も頑張りたいです。また今回審査員特別賞をとれたのは、指導教員の山田先生の心強いお力添えがあったからだと思い、とても感謝しています。



初めて日本植物学会で発表しました



研究で用いた熱気球を使っでの発表

## 千葉大学での発表を終えて

### 谷口 光輝

3年9組 草加市立谷塚中学校出身

今回私たちは、2年生の時から研究を続けてきた熱気球についての発表をし、優秀賞をとることができました。私たちは、熱気球の機体の条件をいろいろ変え、気球が浮いてから天井に着くまでの時間を測定し、熱気球の上昇力について研究しました。私は初めての発表だったので、審査員の方や、他校の先生方が多い中でとても緊張しました。しかし、しっかり質問に答えることができたのでよかったです。千葉大での発表会ではさまざまな研究の発表がされており、どれも非常に内容の濃いものばかりでした。その中で賞がとれたことはとても光栄に思います。これも今回の発表までに放課後遅くまで残ってくださった多くの先生方のご指導や、グループでの助け合い、周りの方々の協力があってこそとれた優秀賞だと思います。これから、まだ発表が残っているので、理解を深めてより内容の濃い研究にしていきたいと思っています。

## 悩みぬいた課題研究

### 大江 海斗

3年9組 川崎市立中原中学校出身

私たちは、多段式の水ロケットについて研究しています。水ロケットとは炭酸飲料のペットボトルに水と圧縮空気を推進剤として入れて飛ばすロケットのことです。より高く飛ばすにはロケットを積み重ねる必要があります。それを理論的に証明し、実証してみようというのが今回の研究の内容です。苦労した点は、上段と下段をつなげる連結部の作成です。本来なら、ロケットを発射し、空中で下段の推進剤がなくなると上段が分離してさらに飛ばすはずでした。しかし、発射する前に上段だけが飛んでしまったり、分離せずにつながったまま落下してしまいました。実験は失敗の連続でしたが、研究成果をまとめ、発表をすることになりました。プラズマ・核融合学会での発表だったので、周りはプラズマ関係の発表が多く、非常に不安でしたが、一生懸命発表したところ、多くの聴衆の興味を引くことができました。そして、口頭発表では優秀賞、ポスター発表では奨励賞を受賞しました。研究で苦労した分、受賞の喜びは大きかったです。



W受賞しました

## お知らせ

### ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月19日、9月8日に「生徒による授業評価アンケートを行いました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプAに9名の先生方が候補として決まりました。保護者の皆様には、11月15、16日の「一斉公開授業」をはじめ、11月25日までにご都合の良い日に来校の上、9名の先生方の授業をご覧いただき、保護者による「授業評価アンケート」にご協力をお願いいたします。

【2011年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧】(教科順)

	教員名	教科
中等部	数馬 大介	国語科
	野口 大輔	国語科
	佐藤 泰士	英語科
高等学校	東出 葉月	国語科
	今井 貴志	地歴科
	石井 裕孝	地歴科
	田中由希子	地歴科
	野々村 淳	数学科
	吉川 博人	保健体育科

※付記

以下の過去3年間にベストティーチャー・タイプAに選ばれた受賞者は、規定により、候補から除外されています。

2008年度：高橋光太・古谷知永

2009年度：浅野幸介・宮嶋孝一・米谷昭人

2010年度：高橋佑未子・数馬大介・山口恵美子

※授業実施時間は学級担任または学校にお問い合わせください。「一斉公開授業」の時間割は後日お知らせいたします。

## 行事予定

### November 11月

- 1日(火) 学園建学69周年記念式典 湘南校舎 生徒自宅学習日
- 2日(水) 朝礼、建学記念式典[正制服着用] 短縮授業
- 3日(木) 文化の日
- 5日(土) スポーツ大会(高3、アリーナ)
- 10日(木) 生徒会立会演説会(1限目)
- 11日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 12日(土) 保護者会(高1)、付属生のための東海大学オープンキャンパス(高2)
- 13日(日) 英検二次試験、高校受験生・保護者学校説明見学会(10:00~)
- 15日(火) 一斉公開授業②、校医相談日
- 16日(水) 一斉公開授業②、専門医によるカウンセリング
- 17日(木) 学園高大連携総合試験(高3)、外部実力試験(中等部、高1、2)
- 19日(土) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(10:00~)
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 26日(土) 後援会委員総会
- 29日(火) 後期中間試験(中等部 ~30日)(高1・2 ~12月2日) 卒業試験(高3 ~12月2日)

### December 12月

- 1日(木) 中等部スポーツ大会(午後:授業)
- 2日(金) 中等部校外活動  
(1年:江戸東京博物館 2年:日本科学未来館 3年:国立劇場)
- 4日(日) 高校受験生・保護者学校説明見学会(10:00~)
- 5日(月) 高3生徒自宅学習日(高3)
- 6日(火) 高3答案返却日(高3)
- 7日(水) 朝礼[正制服着用] 短縮授業 特別講座開始(高3、~1/31)
- 10日(土) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(10:00~)
- 14日(水) 木曜日の授業 中等部保護者面談開始(~1/24)
- 15日(木) 高校入試相談 生徒自宅学習日
- 17日(土) 保護者会(中3) スポーツ大会(高2、アリーナ)
- 20日(火) 校医相談日
- 22日(木) 冬期休暇前諸注意 大掃除(7限目)
- 24日(土) 冬期講習(~28日)
- 27日(火) 吹奏楽部第22回定期演奏会(新宿文化センター、~28日)
- 30日(金) カナダ中期留学(~2/28)

### 建学祭のスナップ



## 編集後記

アメリカニューヨークで始まった「反格差デモ」は、世界80カ国に拡大した。アメリカはGDP(国内総生産)世界第1位の座を保持しているものの、上位2割の富裕層と下位2割の貧困層との所得格差は40倍にも及ぶ。国の豊かさを示す尺度として、いま注目されているのが、ブータン国王が提唱したGNH\*(国民総幸福量)だ。ブータンはGDP世界161位であるにもかかわらず、国民の9割が「いま幸福である」と回答し、GNHは世界第9位。ちなみにGDP世界第3位の日本のGNHは世界125位にとどまる。いま、あらためて豊かさとは何かを考えたい。(か) ※Gross National Happiness

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>